

第3回 統計教育の方法論ワークショップ
アクションに繋がる統計教育 ～人文科学領域での実践と文化遺産の継承～

日時：2007年3月3日(土) 11時～17時30分
2007年3月4日(日) 10時～12時
場所：同志社大学京田辺キャンパス夢告館 MK101,102教室

主催 日本統計学会統計教育分科会
日本統計学会統計教育委員会
共催 数学教育学会
全国統計教育研究協議会
科研費基盤研究(A)
「データ科学の新領域の開拓ー文化財データ解析ー」
(代表：村上征勝)
科研費基盤研究(B)
「教育の情報化・国際化に即応した統計教育と
カリキュラムシステムの開発研究」
(代表：渡辺美智子)

PROGRAM

3月3日 (土)

【教育方法事例報告】

- 11:00～11:20 京都教育大学・・・渡邊 伸 樹
『小学校における「統計教育」のカリキュラム構築へー高学年における教育実践をもとにー』
- 11:20～11:40 杵築市立豊洋小学校・・・安 藤 謙一郎
『ごみはどこへ』
- 11:40～12:00 名古屋市立港南中学校・・・竹 内 俊 哉
『メダカの生態づくりを通して』
- 13:00～13:20 京都府立東宇治高等学校・・・種 村 篤
『教科「情報」で活用できる数学教材の開発ー実践力をつける統計分野の利用実践例ー』
- 13:20～13:40 山梨大学 教育人間科学部 附属教育実践総合センター・・・成 田 雅 博
『高等学校及び大学教養課程における2項分布にしたがう現象を題材とした統計的仮説検定に関する教材開発』
- 13:40～14:00 河合塾コスモコース数学科講師・・・吉 田 一
『センター試験英語のグラフ読み取り問題を統計教育から見ると』
- 14:00～14:20 東京大学大学院経済学研究科・・・尾 鷲 瑞 穂
『図書館サービスにおける統計情報とその教育の必要性ー資料保存に関わる活動を中心としてー』

【講 演】

- 14:40～15:10 二宮智子(玉川大学), 深澤弘美(東京医療情報大学), 渡辺美智子(東洋大学)
『日本における統計教育の現状と国際標準に向けたカリキュラムへの提言ーアクションに繋がる統計教育への転換の必要性ー』

特別企画セッション 『アジアにおける統計教育』

- 15:20～16:00 Jae Chang Lee (Korea University)
"Cooperation between Korean National Statistical Office (KNSO) and Academia in Statistics Education -a Korean Experience"
- 16:00～16:40 Taerim Lee (Korea National Open University)
"Web Based Biostatistical Education Hub for Far East Asian Region"
- 16:50～17:30 袁 丕[Yuan Wei](中国人民大学)
"The Current Status of Statistics(or Data Sciences) Education in China"

3月4日 (日)

『文化遺産データの分析と教育・普及』

- 10:00～11:00 村上征勝(同志社大学)
『浮世絵の形状データ取得と数量分析』
- 11:00～12:00 津村宏臣(同志社大学)
『文化遺産教育・普及と公開のためのSTIS(GIS)の開発』
- 12:00～12:10 閉会の挨拶

問合せ先
日本統計学会 統計教育部会(分科会) 会長 渡辺 美智子(東洋大学)
事務局 末永 勝征(鹿児島純心女子短期大学)
E-mail: jim@stat.sci.kagoshima-u.ac.jp (ワークショップに関する問合せ)
E-mail: sesjss-c@stat.sci.kagoshima-u.ac.jp (部会に関する問合せ)